

令和8年（第36回）暴力追放・地域安全 伊那市民大会

1 開催月日時

令和8年10月24日（土） 午前10時～午前11時20分（予定）

※ 受付は、午前9時30分～

2 開催場所

伊那市荒井 ニシザツいなっせ6階大ホール

3 式典内容

- ・主催者あいさつ（伊那市長、伊那警察署長、伊那市交通安全協会長）
- ・来賓激励（地元選出衆議院議員・県議会議員、上伊那地域振興局長、（公財）県暴力追放県民センター専務理事）
- ・情勢報告（伊那警察署 生活安全・刑事・交通の各課長）
- ・大会宣言（市区長会長会 会長）
- ・がんばろう三唱（伊那市消防団長・同喇叭隊）

4 開催経緯

- ・昭和62年12月7日（月）、伊那市内の閑静な住宅街で、暴力団組織の対立抗争とみられる「けん銃発砲事件」が発生。
- ・当時、市内では、暴力団員が市民生活に入り込む事案が増加傾向にあった。
- ・市民が暴力団同士のトラブルの巻き添えになるだけでなく、直接の被害者となるおそれが大きくなったことを踏まえ、警察による取締りの強化とともに、市民と行政が一体となり、連携を密にした暴力団排除運動が必要となった。
- ・こうした背景を踏まえ、「市民の自主的な協力の許に、市民生活の安全と秩序を維持するため、あらゆる暴力を追放し、平和で明るく、豊かな地域社会づくりに寄与すること」を目的として、翌昭和63年1月24日（日）に第1回「暴力追放伊那市民大会」が、発砲事件の起きた市内下川手地区区民大会として開催。
- ・以来、自然災害対応や新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止となった年を除き、今年（令和8年）で36回目を迎える、本市にとって歴史と伝統ある式典。

大会宣言（案）

犯罪や交通事故のない「安心安全な伊那市」を築くことは、すべての市民の願いです。

しかし、高齢者を狙った電話でお金詐欺や車上狙い・空き巣などの身近な犯罪があとを絶たず、悲惨な交通事故も日々発生しています。

特に、電話でお金詐欺犯罪の背後には、反社会的勢力である暴力団の存在が否定できません。

わたくしたちは、一人ひとりの力を結集して、断固たる態度で暴力団を追放していかなければなりません。

そのために、

暴力団を恐れない

暴力団に金を出さない

暴力団を利用しない

それに加えて、

暴力団と交際しない

この「三ない運動＋１（ワン）」を強い意志をもって推進します。

また、「地域の安心安全は家庭から」を合言葉に、電話でお金詐欺や窃盗被害防止について家庭で話し合い、被害防止と家族の絆を強めます。

さらに、長野県交通安全スローガン「信濃路は みんなの笑顔 つなぐ道」を胸に、交通ルールと交通マナーを守り、思いやりのある運転を心掛け、社会の敵である「飲酒運転」は絶対にしません。

以上、ここに宣言します。

令和８年10月24日